



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年2月6日

上場会社名 株式会社 有沢製作所 上場取引所 東
コード番号 5208 URL <https://www.arisawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有沢 悠太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 増田 竹史 TEL 025-524-7101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	37,782	22.4	3,812	488.1	4,089	469.3	3,004	206.0
2024年3月期第3四半期	30,859	△8.0	648	△69.7	718	△73.5	981	△63.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,150百万円 (52.8%) 2024年3月期第3四半期 2,062百万円 (△34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	90.43	90.34
2024年3月期第3四半期	29.64	29.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	71,260	46,685	65.5	1,405.22
2024年3月期	68,816	46,246	67.2	1,394.08

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 46,679百万円 2024年3月期 46,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年3月期	—	42.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	16.8	4,500	203.3	5,000	235.9	3,500	113.4	105.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

通期連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年2月6日）開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	33,600,524株	2024年3月期	33,566,924株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	382,085株	2024年3月期	413,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	33,222,132株	2024年3月期3Q	33,115,378株

(注) 期末自己株式数には、「従業員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式(2025年3月期3Q 81,200株、2024年3月期 82,300株)が含まれております。

また、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2025年3月期3Q 53,938株、2024年3月期3Q 83,867株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、中国における不動産不況に伴う経済の減速懸念、米国の政策動向による影響、金利や為替変動、継続的な物価上昇、地政学的リスクの長期化など、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、主力事業分野である電子材料に加え、ディスプレイ材料が好調に推移したことから、売上高は377億82百万円（前年同期比22.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は38億12百万円（同488.1%増）、経常利益は40億89百万円（同469.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億4百万円（同206.0%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。

（電子材料）

フレキシブルプリント配線板用材料、及びプリント配線板用ガラスクロスの売上高が増加したこと等により、売上高は237億95百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント利益は売上高が増加したことに加え、操業度が向上したことなどから、21億81百万円（同273.3倍）となりました。

（産業用構造材料）

航空機用ハニカムパネルが軟調に推移したものの、水処理用FRP製圧力容器の売上高が増加したこと等により、売上高は80億97百万円（同5.5%増）、セグメント利益は売上高の増加に加え、品種構成の変化により、14億12百万円（同58.7%増）となりました。

（電気絶縁材料）

インフラ関連向けの売上高が減少したこと等により、売上高は18億21百万円（同3.8%減）、セグメント利益は1億円（同52.3%減）となりました。

（ディスプレイ材料）

3D関連材料、及び偏光利用部材の売上高が増加したこと等により、売上高は37億95百万円（同44.6%増）、セグメント利益は13億5百万円（同100.1%増）となりました。

（その他）

売上高は2億71百万円（同2.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億43百万円増加し、712億60百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が10億11百万円、商品及び製品が8億70百万円、原材料及び貯蔵品が13億27百万円それぞれ増加し、現金及び預金が17億39百万円減少したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億4百万円増加し、245億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が12億38百万円、短期借入金が9億12百万円、長期借入金が12億5百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が22億14百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加し、466億85百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億76百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年2月6日）開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,163,338	16,424,287
受取手形、売掛金及び契約資産	16,515,625	17,526,751
有価証券	—	100,120
商品及び製品	4,587,271	5,457,389
仕掛品	2,515,667	2,808,217
原材料及び貯蔵品	4,359,283	5,686,545
その他	983,820	1,276,825
貸倒引当金	△27,285	△24,842
流動資産合計	47,097,722	49,255,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,372,500	7,218,256
その他（純額）	11,589,443	11,225,793
有形固定資産合計	17,961,943	18,444,050
無形固定資産		
	382,749	316,517
投資その他の資産		
投資有価証券	2,327,455	2,141,330
その他	1,092,275	1,147,947
貸倒引当金	△45,463	△45,082
投資その他の資産合計	3,374,267	3,244,195
固定資産合計	21,718,961	22,004,762
資産合計	68,816,683	71,260,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,014,220	8,252,764
1年内償還予定の社債	10,800	—
短期借入金	5,301,635	6,213,766
1年内返済予定の長期借入金	3,120,516	906,485
未払法人税等	269,618	825,968
製品保証引当金	28,739	26,840
賞与引当金	589,881	340,690
役員賞与引当金	3,618	2,105
その他	3,083,775	3,671,619
流動負債合計	19,422,805	20,240,240
固定負債		
長期借入金	1,970,976	3,176,001
株式給付引当金	68,536	17,625
退職給付に係る負債	485,167	406,093
資産除去債務	99,583	99,947
その他	523,416	635,075
固定負債合計	3,147,680	4,334,742
負債合計	22,570,486	24,574,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,862,036	7,880,116
資本剰余金	3,212,781	3,244,143
利益剰余金	32,253,196	32,529,480
自己株式	△460,640	△471,641
株主資本合計	42,867,374	43,182,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	515,045	563,636
繰延ヘッジ損益	△1,706	△5,274
為替換算調整勘定	2,870,994	2,962,641
退職給付に係る調整累計額	△32,930	△23,773
その他の包括利益累計額合計	3,351,402	3,497,230
新株予約権	27,419	5,745
純資産合計	46,246,196	46,685,075
負債純資産合計	68,816,683	71,260,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	30,859,791	37,782,255
売上原価	25,866,716	28,849,943
売上総利益	4,993,075	8,932,312
販売費及び一般管理費	4,344,882	5,120,258
営業利益	648,192	3,812,053
営業外収益		
受取利息	80,920	62,576
受取配当金	31,789	25,686
助成金収入	35,652	102,066
為替差益	132,411	183,340
その他	71,273	80,415
営業外収益合計	352,046	454,085
営業外費用		
支払利息	146,157	142,742
持分法による投資損失	47,177	—
支払補償費	57,084	—
その他	31,565	34,130
営業外費用合計	281,984	176,873
経常利益	718,254	4,089,266
特別利益		
固定資産売却益	1,799	4,269
新株予約権戻入益	19,454	15,981
その他	656,042	3,174
特別利益合計	677,296	23,425
特別損失		
固定資産除却損	38,216	15,360
減損損失	8,541	6,970
その他	96	—
特別損失合計	46,855	22,331
税金等調整前四半期純利益	1,348,694	4,090,360
法人税等	366,995	1,086,092
四半期純利益	981,699	3,004,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	981,699	3,004,267

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	981,699	3,004,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121,908	48,591
繰延ヘッジ損益	14,417	△3,568
為替換算調整勘定	1,175,105	91,647
退職給付に係る調整額	21,970	9,157
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,147	—
その他の包括利益合計	1,080,438	145,827
四半期包括利益	2,062,137	3,150,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,062,137	3,150,094
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	18,402,636	7,672,916	1,894,257	2,625,267	30,595,077	264,714	30,859,791
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	681,589	681,589
計	18,402,636	7,672,916	1,894,257	2,625,267	30,595,077	946,303	31,541,381
セグメント利益	7,980	889,788	211,513	652,333	1,761,616	151,741	1,913,358

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,761,616
「その他」の区分の利益	151,741
セグメント間取引消去	5,379
全社費用(注)	△1,242,694
棚卸資産の調整額	△27,850
四半期連結損益計算書の営業利益	648,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業用構造材料」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産について、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,541千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子材料	産業用構造材料	電気絶縁材料	ディスプレイ材料	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,795,391	8,097,859	1,821,859	3,795,601	37,510,712	271,542	37,782,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	766,785	766,785
計	23,795,391	8,097,859	1,821,859	3,795,601	37,510,712	1,038,328	38,549,040
セグメント利益	2,181,281	1,412,014	100,961	1,305,140	4,999,397	156,606	5,156,003

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関連商品販売、物流関連及びその他事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,999,397
「その他」の区分の利益	156,606
セグメント間取引消去	4,664
全社費用(注)	△1,246,739
棚卸資産の調整額	△101,875
四半期連結損益計算書の営業利益	3,812,053

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業用構造材料」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産について、帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,970千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,683,120千円	1,559,958千円